

『早稲田大学高等研究所紀要 第11号』刊行にあたって

2008年度から刊行してきた本紀要もこのたび第11号を刊行する運びとなりました。日頃よりご支援をいただいております皆様におかれましては、厚く御礼を申し上げます。

早稲田大学高等研究所は、次代を担う優秀な若手研究者の育成と、本学の研究活動のより一層の活性化を目的に、2006年9月に設立されました。文系、理系の分野を問わず若手研究者を国際公募にて採用し、学際的な交流を推進するとともに、研究者の自立的な研究環境を提供し、先端的な研究活動を行っております。

2018年度は、人文・社会・自然科学分野で合計35名の研究員が在籍し、その約4分の1は女性研究者、約3分の1が外国人研究者です。本研究所の設立以来、本学を含む国内外の大学や研究機関等へと送り出した研究員は、これまで百数十名にもおよび、各分野における第一線で活躍しております。

本紀要は、こうした現職の研究員やこれまでに在籍した研究員（所友）の研究成果を収録しております。研究内容は多岐に渡り、論文については学内外の専門家による査読審査を経て収録しています。刊行は電子媒体として、本研究所のWebサイトにて、広く皆様にご覧いただいております。

本研究所では、本紀要のほか、研究員が英語にて研究報告を行う月例研究会、研究員の企画による各分野の専門家を招聘した講演会、英国Routledge社と提携して研究所での研究成果を書籍化する『Routledge-WIAS モノグラフシリーズ』の刊行の推進など、様々な成果発信を展開しております。

こうした様々な取組みとともに、本紀要が国内外の皆様の研究活動に貢献することができましたら、これに勝る喜びはありません。

今後とも皆様のご指導とご支援をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

2019年3月

早稲田大学高等研究所
所長 前田 恵一